

オーシャンシミュレータと光損失測定器

1982 年（昭和 57）、深海環境下と同じ条件で光海底ケーブルの特性を精度良く、安定に試験できるオーシャンシミュレータと高安定光ファイバ損失微小変動測定装置を開発し、小室受信所構内に設置した。このシミュレータと測定装置で、試料長約 200m の光海底ケーブルを用いてケーブル敷設、引き揚げ時に加わる張力と、船上から 8,000m の深海底に至るまでの水深相当の水圧と温度をシミュレートし、ケーブルの伸びや光ファイバの損失変化を正確に測定することが可能になった。オーシャンシミュレータは、TPC-3 以降の光海底ケーブルの特性評価に使用されている。

出典：KDD 社史